
死んだら、なぜか転生してメンドクサイのに巻き込まれてしまったあ！

kumegon

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

死んだら、なぜか転生してメンドクサイのに巻き込まれてしまったあ！

【Nコード】

N6089Z

【作者名】

kumegon

【あらすじ】

俺は松本聖夜。ごく平凡の二十六歳のサラリーマンである。自慢があるとするれば、『運』がいいところ、なのだが……その運にも見放され、俺は死んでしまった！悲観しながら、目覚めたのは天国でもなく地獄でもなく、神々の戦場だと！もう嫌になっちゃうぜ。まあ、とりあえず頑張って二度目の生を全うして生きていこうと思います！

001 転生すべての始まり

俺はつくづく運が良い男だ。

宝くじを買えば、賞金はどうであれ、確実に当たりを引くし。
パチスロへ行っても、一度も負けたことがない。

まあ、まだ二十六年という短い人生だ。

だからこそ今まで運を使ってしまった分、これからの未来は運がないかもしれない。

だが……

だからといってなあ……？

旅行先で銀行強盗に出会って、殺されるってのは酷いんじゃないか？

俺は松本聖夜。二十六歳のどこにでもいるサラリーマンだ。
大学も一応卒業して、これからだ！　というときだった。

俺も詳しく覚えてはいない。
想像してみてくれ。

旅行先で銀行強盗に出会ったぞ？
そりゃ、パニくるに決まってるさ！
でもよ。まだ、それくらいならどこにでもいそくな運の悪い奴だ。

しかし、俺はその上をいく、マスターオブ運の悪い奴だったのだ！
なんと、強盗の一人が威嚇して撃ってきた銃弾が俺の心臓と真ん中に当たった。

そりゃ、死ぬしかないだろ？

でもって、そんな風に死んだ俺が、なんでこんなところにいるんだ？

「おい、新人。さっさと起きろ」

死んだ俺に向かつて、誰かが声をかけてくる。
目を開けてみると、そこにはまたもや銃を持った傭兵風の男が！

俺はとっさにはね起きたさ！
死んだのにまた死にたくない。

「じゃ、行くぞ？」

行ってくて何よ。

まあ、俺は死人だから行先は天国か地獄だろう。
そう考えると、俺の目の前にいる、むさくる……いや、傭兵風の男性は？

天使？ いやいや、こんな物騒なものを持っている天使なんか世

界中探しても絶対にいないって！

……ってことは

「鬼？」

「？　なんか言ったか？」

鬼（ほぼ確定）が睨んで言ってくる。

なんで何も悪いことをしてない、ただ旅行先で銀行強盗に殺されただけの善良な人間をよく睨んでくれるな！

俺はこんなことを心でつぶやいた。

でも、やっぱり地獄には行きたくないので、なるべく丁寧な言葉で尋ねてみる。

「どこに行くのですか？」

「どこに行くって、戦場に決まってるだろ」

鬼は苛立ったように言った。

戦場、それはおそらく地獄を比喩的に表現したものだろう。

どうやら、俺は地獄行きのようだ。

そう考えるだけで、憂鬱な気分になる。

「そうですか。俺は地獄行きですか……」

本当に悲しい。

小さいころ、おばあちゃんにあれだけ、「地獄に行くようなことは絶対にしちゃだめよ」と言われてきたのに……。

「は？ 地獄？ おめえ、なに言ってるんだ？」

「ですから、俺は地獄行きなんですよね。あれ、もしかしたら俺、天国行きですか？」

かすかな希望が見えてきた！

これで、俺も極楽生活を過ごせるのか！

「地獄？ 天国？ ……あ、ああ。おめえ、もしかして女神から何も説明されてないのか？」

お、天国行きへのキーワード『女神』が出てきたぞ。

俺の天国行きの確率が上がってきた！

「女神って、天国の？」

俺の様子を見て天使（どうやら鬼ではなさそうである）は、合点がいったようだった。

「そうか。女神に会ってないんだな。……ってことは、俺が全部説明しなきゃいけないのか！ ……ったく仕方ねえな。時間がないんだから、しっかり聞けよ。

おめえは一回死んだな？」

「そうだけど……」

「この世界の人間はな、別の色々な世界で一回死んだ奴が二度目の

生を受けて生きている。まあ、なぜ二度目の生を受けることができたかっつーと、この世界で起きている神々の闘争を終わらせるためだ。

混沌を司る神、デウス。秩序を司る神、ファウス。

その神々の兵が俺たちつてわけだ。ちなみに俺たちは、女神ファウスの戦士だ。

もちろん、生を受けた人間は誰でもつてわけではないぜ。他の人間より優れた能力を持つ奴、自分にしかない特異な能力を持つ奴。まあ、人それぞれだが、どの戦士も戦闘のエキスパートつてことだな」

この男の話を聞く限り、どうやら俺はラノベにありがちな転生をしたらしい。

「……つてわけだ。わかったか？」

後半の部分を全く聞いていなかったが、俺は

「ああ。わかったよ。……ところで、俺の名前は松本聖夜。聖夜と呼んでくれ。でもつて、アンタの名前は？」

「あん？ 俺の名前？ 俺はエドワードだ。……さつさと戦場へ行くぞ」

二度目の生を受けた対価は大きいな。

俺はエドワードの後姿を見ながら思った。

そして、二度目の生を受けた俺は果たして『運』がいいのか、悪

いのか、まだ聖夜がしるところではなかった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6089z/>

死んだら、なぜか転生してメンドクサイのに巻き込まれてしまったあ！

2011年12月20日14時48分発行